

さいたま市立大宮八幡中学校

〔学校教育目標〕心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**



「大宮八幡中学校の樹」

第11号

令和8年3月2日 発行

さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

## どう生きるか

校長 下館 文雄

春の訪れを感じる季節となりました。3月は別れと旅立ちの月です。3年生は卒業し、1・2年生は進級を迎えます。それぞれが新しい一步を踏み出す大切な節目の時です。

昨年度の学校だよりにも掲載しましたが、吉野 源三郎著「君たちはどう生きるか」という本について紹介します。この題名「君たちはどう生きるか」は、今を生きる私たち一人ひとりに向けられた問いかけでもあります。「どう生きるか」という問いに、すぐに正解は見つかりません。しかし、日々の選択の積み重ねこそが、その人の生き方を形づくっていきます。

友だちとの関わりをどう大切にするか。困難に出会ったとき、どう向き合うか。自分の弱さや未熟さどう折り合いをつけるか。そうした小さな問いへの答えの積み重ねが未来の自分に繋がっています。

失敗してもかまいません。遠回りしてもかまいません。大切なのは、自分の頭で考え自分の足で一步踏み出すことです。そして、周囲の人への思いやりを忘れないことです。このことは本校が推進しているESDの考え方とも共通しています。「なぜだろう」「自分にできることは何だろう」と考える姿勢が持続可能な社会づくりの第一歩となるのです。

卒業生の皆さんは、新しい世界へ羽ばたいていきます。在校生の皆さんは、学校の新たな担い手となります。それぞれの場所で、「自分はどう生きるか」を問い続けながら成長してほしいと願っています。答えはすぐに見つからないかもしれませんが、しかし、問い続けることそのものが、皆さんをより良い未来へと導いてくれるはずですよ。

春は、始まりの季節です。皆さん一人ひとりの未来が、希望に満ちたものであることを心から願っています。



【テニスコート横に咲く菜の花】